



各 位

平成 29 年 4 月 28 日

上場会社名 株式会社神戸製鋼所  
代表者 代表取締役会長兼社長 川崎 博也  
(コード番号 5406)  
問合せ先 秘書広報部長 楠山 泰司  
(TEL 03-5739-6010)

### 業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成 29 年 2 月 2 日に公表した平成 29 年 3 月期(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)の連結業績予想と、本日公表の同実績に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

平成 29 年 3 月期通期連結業績予想と実績との差異(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常損失	親会社株主に帰属する当期純損失	1 株当たり当期純損失
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,690,000	5,000	△30,000	△40,000	△110.29
実績(B)	1,695,864	9,749	△19,103	△23,045	△63.54
増減額(B-A)	5,864	4,749	10,896	16,954	
増減率(%)	0.3	95.0	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	1,822,805	68,445	28,927	△21,556	△59.34

※当社は、平成 28 年 10 月 1 日を効力発生日として、10 株を 1 株とする株式併合を実施したため、平成 28 年 3 月期の期首に当該株式併合が行なわれたと仮定し、1 株当たり当期純損失を算定しております。

#### 業績予想と差異の理由

販売数量の増加などに加え、固定費等のコスト低減や想定していたコスト悪化要因が顕在化しなかったことなどにより、前回(平成 29 年 2 月 2 日)公表した業績予想と比較して営業利益、経常損失が改善し、中国のホイールローダ事業に係る融資の引当金について戻入益を特別利益として計上したことから、親会社株主に帰属する当期純損失が改善しました。

以 上